

地域懇談会（県北ブロック・阿蘇地域）の概要 について

1. 開催日時等

日 時：平成17年11月11日（金）14：00～16：00
場 所：阿蘇広域行政事務組合「未来館」

2. 出席者

関係市町村の長及び議長：

南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村の長及び議長

（計10名出席。ただし、西原村は収入役出席）

委 員：中川会長、北田委員、田中委員、村越委員（計4名出席）

事務局：川口市町村総室長 他

3. 主な意見等

- ・ 合併は必要ということで検討したが、住民投票の結果、合併検討をあきらめた経緯がある。そのため、相手を見つけて合併協議を進めることは、すぐには無理と思うが、安定的に事業を継続していくためにも、合併は必要と認識しており、将来的には、どこかの市町村と合併を検討していくことも必要と考えている。
- ・ それぞれの自治体の事情を踏まえて、審議会の審議をお願いしたい。推進を強力にやって欲しいところもあるし、暫くはそっとして欲しいという自治体もある。
- ・ 合併した、しなかったは、いろいろな事情があつての結果であるから、合併したところには手厚く、しなかったところを冷遇するようなことはしないで欲しい。
- ・ 隣接町との合併を進めてきたが、住民投票で多くの住民が反対したこともあり、合併は成就しなかった。この経緯は簡単に解消するとは思えない。いつか合併するとの中途半端な気持ちで町政運営はできないと考えており、単独でのまちづくりを進めている。
- ・ 合併効果として専門職員の確保がいわれているが、市町村において最も必要なのは、具体的な住民対処能力を持った職員である。また、住民参加も言われているが小さな自治体の方が住民参加度も大きく、住民のチェック機能も働きやすい。合併効果として言われていることが、果たしてそのとおりか。
- ・ 市町村にとっての一番は財政問題。単独で行くことになったので職員数を59人から42人に3割削減するなど努力している。しかし、財政が厳しいと行政サービスは落ちるのか。社会的弱者を思いやる福祉の心を持った職員と村民が一緒になっていけば、決してそうとも言い切れないのではないか。
- ・ 合併は必要だと思うが、そのために地域特性が消えてはいけぬ。例えば、当村の水道料金は10tで600円だが、これが合併で高くなれば行政サービスが落ちるということではないか。
- ・ 合併は必要であり、合併はしたいという意見である。旧法下において一生懸命努力した結果、合併しようと思ってもできなかった地域に対して、もっと県の強い指導力を発揮して欲しかった。県に対して不信感を持っている。

- ・ 宮崎県に接した集落もあるなど範囲も広く合併には苦勞している。そこを努力して合併を考えており、相手探しについても配慮をお願いする。
- ・ 議会としては、阿蘇は一つという考えである。
- ・ 合併は必要だと思うし、しなければならぬと理解している。
- ・ 阿蘇は一つということだが、当村は外輪山の外ということで、空港周辺4町村との関係が密接である。
- ・ 既に合併したところのメリット、デメリットを村民に周知していく必要があると考えている。